第5回 岩盤不連続面の室内せん断試験方法基準化 WG 議事録

日 時：平成19年7月30日(月) 13:30～17:00

場 所：地盤工学会 3階中会議室

参加予定者：

江崎,(楠見),上西,(岡田),鈴木,西山,平川,船戸,(矢島),矢野,吉田,(若林),
三谷<カッコは欠席,敬称略>

配付資料

資料5-0：第5回 WG 議題書

資料5-1：岩盤不連続面の室内せん断試験方法基準(最終版)

資料5-2：「土と基礎」会告案

資料5-3：会告および基準変更点(コメント一覧)

資料5-4：岩盤不連続面の室内せん断試験方法解説

資料5-5：委員会活動計画

議事次第(予定)

1. 今後のスケジュール確認

資料5-5に基づき,今後のスケジュールについて確認を行った。解説,英訳等の作成作業については,遅くとも12月中には,ほぼ完成し,査読に回す必要があることを確認した。

2. 室内せん断試験方法基準会告について(資料5-2)

会告について読み合わせを行い内容の確認を行った。
数カ所の修正を行い,地盤工学会に提出した。

3. 室内せん断試験方法基準の最終確認(資料5-1)

基準について,内容の確認を行った。
数カ所の修正を行い,地盤工学会に提出した。

4. 基準英訳について

8月末までに一次原稿を作成することとした。
担当については,1～4節:三谷,5～6節:西山,7～8節:上西が作成を行う。
一次原稿完成後,WG内で回覧し,修正等の意見の集約を行う。

英訳の最終原稿については、ネイティブチェックを行う。原稿の依頼等は親委員会に確認のうえ、お願いすることとする。

5. 室内せん断試験方法基準解説について

解説について資料5 - 4に基づいて、記載する方針・内容等について確認を行った。

せん断試験装置については、三軸試験等のような決まった試験装置はない。そのため、基準の図1に示すような装置を原型として、例示に終始しながら解説を作成する必要がある。

この基準は、実務に用いられるものとして受け入れられるものになるように心がけることとする。

基準の枠にはまらないものについて、基準以外のその他の試験方法として対応することとする。

「岩盤不連続面分布の幾何学的情報に関する調査方法」に関する解説の最終版を参考のため、入手しメンバー全員に送付する。

解説を作成する過程で疑問点等があればメールにて情報を集約するようにする。

(例えば、せん断時の面積補正の問題：三谷から西山さんに関連情報を送付 など)

解説を作成するにあたって参考となる資料等があれば、三谷まで送付し、HPに掲載する。また、HPを活用して情報のやりとりを行うこととする。

解説の分担は以下の通りとする。

1章(適用範囲)・2章(定義)	: 江崎, 楠見
3章(試験装置)	: 矢野, 岡田
4章(供試体)	: 鈴木, 若林
5章(試験方法)	: 船戸, 吉田
6章(試験結果の整理)	: 西山, 平川
7章(報告事項)	: 矢島, 上西
全体とりまとめ	: 三谷

具体的なスケジュールと作業内容は以下の通りとする。

1) 8/12までに(各担当)

本基準と解説に割り当てられるページ数の制限について、親委員会に確認する。

各章で記載する具体的な詳細項目(目次)を列挙して三谷まで送付する。

その際に、4 / 3 回答のコメント No. を記入すること。

2) 8/13~8/20

集約された項目を整理の上、重複等を調整して具体的な解説の作成方針を決定する

3) 8/20~9月第3週

解説 Ver.3 の作成(完全版でなくても構わない)

4) 9月第4週

解説 Ver.3 の全体調整

以降，10月に解説 Ver.4，11月に解説 Ver.5 と修正を加えていく。

6 . その他

次回のWGは，11月末を予定。